

日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同

海洋生物学分科会

第25期第2回会議 議事要旨

日時：令和3年6月24日（木）10:00-12:00

会議の開催方法：遠隔会議（Zoom）

参加者：大路樹生、川井浩史、岸本健雄、窪川かおる、白山義久、長里千香子、中田薫、西田宏記、原田尚美、堀利栄、三村徹郎、渡部終五（五十音順）

欠席：萩原篤志、仲岡雅裕（特任連携会員）

議題

1. 前回の議事録の確認

2. GOSP2020 日本語訳の完成と今後の使用法(資料1)

白山委員より、正式和訳としてユネスコのホームページに掲載することは確約済みとの報告があった。また、日本学術会議のロゴマークを掲載できるかは、ユネスコと協議中であるという説明があった。

窪川委員より、会員に対して最終的な文字とレイアウト校正をしてほしいとの要望があった。各会員が最新版に対して確認作業を行い、気づいた部分を窪川委員に報告するということを確認した。最終レイアウトは西田会員が確認をするということになった。

タイトルは「世界の海洋科学の現状報告」とし、「である調」に統一するということを確認した。

3. 第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）と次期マスタープランへの応募（資料2-1, 2-2）

窪川委員より、第24期学術の大型研究計画に関するマスタープランの申請内容（海洋科学に関わる施設間のネットワーク化の推進）と結果（ヒアリングを受けたが、重点大型研究計画には採用されなかったこと、文科省・ロードマップへ提案したこと）、今後のマスタープランの申請に関する準備についての説明があった。

各委員よりマスタープランの今後の申請に関する意見交換、情報の共有が行われた。

岸本委員より「新たな沖縄振興のための制度提言」の資料をもとに、国立自然史博物館の設立に向けた進展状況が説明された。7月21日から始まる沖縄県立博物館・美術館で開催される特別展「みんなの進化展」～命はつながっている～の紹介があった。

4. 「海洋生物学の現状と展望」に関するシンポジウムと提言について（資料3, 4）

今後は、他の分科会との連携を図りながら、提言を出すことが望ましいという意見があったと同時に、連携することによる課題点についても意見交換を行った。

5. その他

次回は9月にオンラインで実施する。

資料

1. 第25期第1回海洋生物分科会議事録
2. GOSR2020 翻訳海洋生物学分科会
- 3-1. 海洋生物学 マスタープラン 2020
- 3-2. 009 海洋生物科学の研究ネットワークの構築 マスタープラン 2020
4. 講演会、シンポジウム等提案様式 (海洋生物、SCOR)
5. 学術の動向_海洋科学の10年 最初のみ